



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



鹿間行雄会長退任挨拶

退任に当たり、ご挨拶を申し上げます。

いよいよ2008～2009年度の最終例会を迎えることとなりました。岡本幹事を始めとして、理事・役員の皆様、各担当委員会委員長の皆様、そして全ての会員の皆様、一年間に亘りそれぞれの方野で一方ならぬご尽力を頂戴致しました。お陰をもちまして大過無く任期を全うしております。有り難うございました。感謝申し上げます。

本年度のスタートに当たって、「親睦と奉仕の調和の中にロータリーが宿る」を実践するために、三つの重点方針を掲げさせて頂きました。

ロータリーの原点を見つめ直し、会員相互の理解と親睦を深めることにより、魅力ある楽しいクラブにしよう。

ロータリーの原点については、ときおり拙いお話をさせて頂きました。多少は、関心を深めて頂けたものと思っております。

また、親睦については、親睦委員会の担当事業だけでなく、他の委員会担当の事業遂行の際にも、相互理解と親睦を念頭に置きながら事業活動にあたって頂けたものと喜んでおります。

「四つのテスト」を活用しよう。

本年度も、毎例会の冒頭に全員で「四



つのテスト」の唱和をして頂きました。「四つのテスト」を頭に叩き込むことにより、日常の行動指針として自然に活用頂けたものと思っております。

会員増強に努めよう。

会員増強については、都倉増強・職業分類委員長、岡本幹事を始めとして、大勢の会員の皆さんにご尽力を頂きました。本年度中には花を咲かせることができなせんでしたが、本年度に蒔いて頂いた種が近々芽を出してくれることを期待したいと思います。

高砂青松ロータリークラブ会員の皆様に、浅学非才な会長をそれぞれの立場で快く支えて頂きました。ロータリーの友情に心から感謝申し上げます。

話が飛びますが、会長の時間にお話する内容を毎週考えることは、私にとって大変な負担となっていました。歴代会長のように、すらすらとお話ができるようになることを期待しておりましたが、最後まで成長することができなせんでした。毎週取り留めのないお話をさせて頂き、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。お詫び申し上げます。

一年間貴重な経験をさせて頂きました。本当に有り難うございました。

岡本幹事退任挨拶

副幹事を仰せつかってから2年間、幹事に就任させていただいてから1年。この2年間はあっという間でした。特に幹事を務めさせていただいたこの1年はほんとうに早く感じました。

1年間いろいろフォローしてくださった竹原副幹事が、4月くらいから、新年度に向けてご苦労なさっている姿を見ると、1年の早さを実感しました。

で、この1年間、私が幹事という職務を全うしていたかということ、はなはだ疑問です。

鹿間会長の方針を実行していく上においても、たよりない幹事で、会長にご迷惑ばかりおかけしていたのではないかと思います。幸い、鹿間会長は非常に温厚な方で、幹事の至らないところを自らフォローしてくださり、本当に感謝しております。

また、会員の増強を図ることができませんでした。しかも残念なことに、塩谷会員、吉田会員、渡辺会員という大切な人たちが退会されていきました。次年度会員数を減らせて菱田会長に引き継ぐ事は、幹事として責任を果たせなかった悔いが大きく残りました。

会長の重点テーマである会員相互の理解と親睦を深めるという点でも、たいした成果を残せず、会長はじめクラブの皆さまにご迷惑をおかけしたことを謝罪いたします。

幹事をしてよかった事は、ロータリークラブというものについて、勉強する機会を多く与えていただき、まだまだ不十分ではありますが、勉強できたと思います。

また、鹿間会長を始め、本年度の理事の方々。前年度の増田元会長、大橋元幹事。新年度の菱田会長、竹原新幹事など、たぶん、幹事をしていなければ親しく話す機会



のなかった人と親しくさせていただいたことがあります。

ロータリーの親睦とはこのような中で生まれるのかと実感しました。

今年1年体調が優れないにもかかわらず、例会を支えていただきました廣瀬S.A.A.をはじめ、副S.A.A.の皆様には大変感謝いたしております。

また、理事会のメンバーの方々にも非常に助けていた

きました。

増田直前会長には経験に基づく様々なアドバイスをいただき、理事会を円滑に運営することができました。森脇職業奉仕委員長には早朝例会・職場例会・健康診断と場所や例会のセッティングの折衝をしていただきました。

矢野社会奉仕委員長にはマーチング・イン・高砂の開催や献血例会を仕事柄出るのがむづかしい時間にもかかわらず担当していただきました。

鹿間新世代委員長には特に新世代会議を成功に導いていただきました。また理事会において、私のわからない点や判断のつかない事案について数々指摘して、正しい方向に導いてくださり感謝しております。

原田国際奉仕委員長には当ロータリーの長年続けている事業であるクンパイヤ文庫がきちんと運営されているか自らタイに赴き、成果を報告していただきました。

小林会計には大切な会計業務に携わっていただき、遺漏無く無事決算していただきました。

その他の委員長さんにも、自らの仕事が忙しい中、時間を割いて職務を全うしていただき感謝しております。

本当に1年間ありがとうございました。

プログラム予定

7月1日(水)	7月8日(水)	7月15日(水)	7月22日(水)
会長・幹事 就任挨拶	定款・細則・決算・予算承認 雑誌・広報委員会担当 ホームページを閲覧する為 のパソコン操作法について	各委員会事業説明	各委員会事業説明 (前週の続き)



Donation

ニコニコ報告

鹿間 行雄

いよいよ本年度最終例会を迎えました。皆さんには、1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。また、ご迷惑をおかけしたことが多かったと思います。ご容赦下さい。

岡本 崇司

本年度1年間ご協力ありがとうございました。次年度菱田新会長、竹原新幹事ががんばってください。

竹原 俊三

鹿間会長、岡本幹事、一年間お疲れ様でした。岡本幹事、色々お世話になりました。有り難うございました。

志方 正昭・廣瀬 明正・濱田 喜重
 京谷 慎平・都倉 達殊・菱田 克己
 増田耕太郎・西田 光衛・嶋谷 拓雄
 鹿間 虹美・藤本 明久・田中 伸明
 大橋 卓司・植杉成一郎・矢野 聡

鹿間会長、岡本幹事、1年間御苦労様でした。

大森 千里・田水 敬雄・中谷 利幸
 澤田 孝彦・柿木 國夫・内海 薫
 佐野 栄作・庄司 武・伊藤 勝之
 井野 隆弘

最終例会を祝して。鹿間会長はじめ役員・理事の皆様、一年間有難うございました。

埋田 悦造 (高砂R.C.)

7月で転勤することになりました。青松R.C.の皆様には大変お世話になり、また発電所も見学して戴き有難うございました。後任者もまたよろしく申し上げます。



et cetera

委員会報告

ロータリー財団
伊藤委員長

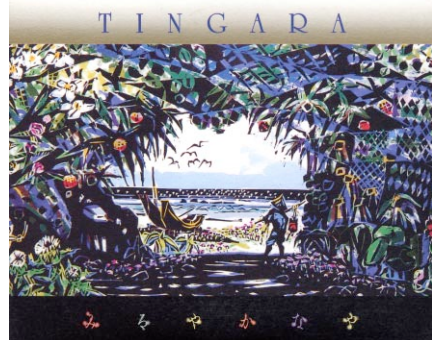


お昼のすこしい音楽

このコーナーでは毎週快適なランチタイムを過ごしていただくためにチョイスした少しこだわりの音楽をお届けしたいと思います。ではゆっくり楽しんでください。

本日の一枚 (7月1日)

TINGARA / みるやかなや



版画家名嘉睦稔によって見出された3人のユニット「ていんがーら」(天の川) 石垣島白保の浜で降るような星空を見上げながら三線の音色と石垣の銘酒「請福」をしたためれば、ゆるやかに五体をもみほぐしてくれるだろう。

(このコーナーに対してのご感想、お問い合わせは唱歌委員会 藤本まで)

Neighbor-club
information

近隣クラブINFORMATION

第42回 通算1406回

クラブ名	変更内容	日時・場所
姫路南ロータリークラブ	最終例会 時間変更	6/29(月)17:30~
明石北ロータリークラブ	納涼例会 移動例会	7/28(火) 7/26(日)
〃	休会(定款第6条第1節(c)による)	8/11(火)
〃	合同例会 移動例会	9/15(火) 9/16(水)

例会記録 2009. 6. 24 (水) 通算1483回

ソング	「奉仕の理想」「歓迎歌」
四つのテスト	ロータリー財団委員会 伊藤勝之 委員長
来訪ロータリー アン報告	埋田悦造様(高砂R.C.)
出席報告	6月10日 会員数 52名 欠席者 11名 出席率 75.56% <修正による> (この内出席免除者10名)
	6月24日 会員数 52名 欠席者 9名 出席率 79.07% (この内出席免除者10名)

播磨ゆかりの偉人伝 ④

羽柴秀吉 (はしば・ひでよし) 播磨を平定した天下人

播磨の武将を語る時、この男を抜きには決して出来ないだろう。戦国時代、天下統一を果たした羽柴(豊臣)秀吉である。天正8(1580)年から約3年間、姫路城主として君臨、中国の毛利氏討伐を目指した。

それまで居城としていたのは三木城。毛利氏側についた城主・別所長治を、有名な“三木の干殺し”といわれた兵糧攻めで自害に追い込んだすえでの居城だった。

そんな秀吉に姫路入りを勧めたのは姫路城主の黒田官兵衛孝高。くどき文句はこうだった。「姫路は播磨の中央にあり海に近くて交通の要衝で、播磨の国の主たる者の居城にふさわしいところ。なにより中国征伐を成功させるためには最も都合よき足場となりましょう。そのために姫路城を差し上げましょう」。秀吉はこの提案を聞き入れた。

姫路入りした秀吉がさっそく取り組んだのは姫路城の改築。着工から1年の天正9年3月、三層四階の見事な天守閣が完成した。その偉容は、遠く播磨灘からも驚嘆の思いで眺められたという。

秀吉の城の完成で、にわかに姫路平野に人が集まりだした。三木落城のあと、秀吉は町人優遇策を取ったが、ここでも同じ施策を推進。その結果、自由な商業流通が可能になり。商人が集まり町がにぎわい始めたのである。

主君の織田信長からあらためて中国征伐の命令がくだり、いよいよ本格的に毛利攻めに取り掛かったのは天正10年。六万余の兵を率いて、中国攻め第一目標である備中・高松城に迫った。

ここで秀吉が展開したのは“水攻め”。城の周囲に堤防を築き、そこへ水を引き入れる作戦。これで高松城を湖の孤城にした。有利に戦線を運ぶ中、明智光秀による“本能寺の変”で織田信長が討たれたとの知らせ。秀吉はすぐさま高松城主・清水宗治の切腹を条件に毛利輝元と講和し、京に軍を返した。これが有名な“中国大返し”である。

秀吉は山崎の戦いで光秀を破り、さらに柴田勝家との賤ヶ岳の戦いを制し、信長後継の地位を得ると、その後大坂城を築いて天下統一を成し遂げた。

(主な参考文献=中元孝迪・著「姫路城永遠の天守閣」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)